

8 目標を達成するために行う事業及びその実施主体

(1) 安全・安心の輸送サービス

重軌条交換及び軌道道床硬質構造化

事業概要

電車走行時の振動を抑え、快適な乗り心地を提供するとともに、通行時に発生する振動・騒音など、周辺住民にも配慮した環境を整えます。

未整備区間については、1mあたり37kgないし40kgのレールを利用しており、断面の摩耗とレール癖の発生が見受けられることから、50kgNのレールに変更（重軌条）し、軌道道床硬質の構造化と併せて、走行安定性と制振性を高め、快適な走行を実現します。

実施主体

万葉線株式会社

信号保安設備の更新

事業概要

耐用年数を超えた踏切を更新し、故障等による運行ダイヤの遅延を防ぎ、安定した輸送サービスの提供に努めます。

また、踏切毎に設置してある運転士知らせ灯をLEDに交換し、視認性の向上と省電力化による経費の節減を図ります。

実施主体

万葉線株式会社

電路設備の更新

事業概要

電車のパンタグラフと接触して車両に電気を供給するトロリー線について、耐用年数を超え、断線や漏電の可能性が高まるため、電車線・吊架線を更新します。

その際、形状を85sq（スクウェア。電車線の単位）から110sqへと重いものに交換することで、電気の供給ロスを抑え、経費の節減を図るとともに、故障等による運行ダイヤの遅延を防ぎ、安定した輸送サービスの提供に努めます。

実施主体

万葉線株式会社

変電所設備の更新

事業概要

変電所の整流器（電力変換装置）が老朽化し、耐用年数を超えているため、これを更新し、安定した輸送サービスの提供に努めます。

実施主体
万葉線株式会社

除雪車両の更新

事業概要

現在の除雪車両は廃車となった車両を用いており、老朽化が著しいため、これを更新し、降雪時の円滑な輸送サービスの提供に努めます。

実施主体
万葉線株式会社

(2) 乗降環境の改善

停留施設の整備

事業概要

移動の不便を解消するため、電停のホームを低床式車両の出入り口の高さに合うよう嵩上げし、足腰の不自由な高齢者等にも優しいバリアフリー環境を整備します。

また、降雨・降雪時等における待ち合い時間のストレスの軽減を図るため、ホーム上屋の新設・改良にも取り組みます。

実施主体
万葉線株式会社

待合室の改良

事業概要

天候不順時の電車待ち合わせ等で利用客が不便を感じることをないよう、老朽化した待合室を改良し、利用環境の向上を図ります。

実施主体
万葉線株式会社

J R高岡駅（交通広場）への延伸

事業概要

高岡市が整備を進めている高岡駅周辺整備事業に伴い、整備が予定されている交通広場まで万葉線の高岡駅前停留所を移設・延伸し、交通結節機能の強化と乗り継ぎ利便性の向上を図ります。

実施主体
高岡市

小規模自転車駐車場の整備

事業概要

マイカー利用の抑制や環境負荷の軽減にも資するパークアンドライドを推進するため、片原町電停付近に自転車駐車場を整備し、利便性の向上と利用促進を図ります。

実施主体

高岡市

計画的な車両の更新

事業概要

現状、昭和 40 年代に整備の旧型 5 編成と、平成 10 年代に整備の新型 6 編成を運用し、日々の 6 両運行体制を維持していますが、昭和 40 年代整備の車両の老朽化が進んでいること、バリアフリーの一層の推進が求められていることなどから、今後も計画的に車両の更新を図り、利便性の向上に努めます。

実施主体

万葉線株式会社

ICカード乗車システムの導入

事業概要

他の交通事業者との共用が可能な IC カード乗車システムを導入し、乗降時の時間短縮と乗り継ぎ利便性の向上を図るとともに、交通事業者相互の連携により、公共交通全体の活性化を目指します。

実施主体

万葉線株式会社

軌道優先信号の導入

事業概要

道路上に敷設されたレールを走る軌道区間においては、道路の混雑具合や、右折のため停車中の自動車などによって走行が妨げられることが多く、しばしば到着時間の遅延が発生する場合があることから、電車の走行を最優先して信号機の点灯時間が変化する、軌道優先信号システムを導入し、電車の走行安全性の向上と到着時間の短縮、定時性の確保につなげます。

実施主体

万葉線株式会社

(3) サービスの充実と魅力向上

夜間増発の実証実験

事業概要

高岡駅前電停の終電時間を、現行の 22 時台から 23 時台に延長する実証実験を行い、万葉線の利用増、中心街や飲食店等の活性化、自動車から電車への転換促進等に向けた効果を検証します。

実施主体

万葉線株式会社

新型定期券の発行

事業概要

現在の通勤・通学定期に加え、高齢者を対象とした有利な定期券や、他の交通機関と共用できる定期券を開発し、新規需要を掘り起こします。

実施主体

万葉線株式会社

万葉線情報の発信

事業概要

豊富な歴史・文化遺産や観光スポット、多彩なイベントや祭り、美味しいお店や名物、電車にまつわるトピックなど、万葉線とその沿線にある様々な情報を定期的に発信し、魅力を広く伝えることで、観光客のみならず地元の利用客増と活性化をめざします。

実施主体

万葉線株式会社、万葉線対策協議会、万葉線を愛する会

万葉線体験ツアーの開催

事業概要

近隣の観光資源を活用した“電車の旅”を実施し、参加者に万葉線の魅力を体感し、愛着を深めてもらい、次の自主的な利用を促し、口コミによる拡がりへとつなげます。

実施主体

万葉線対策協議会、万葉線を愛する会

沿線店舗等とのタイアップによる魅力向上

事業概要

一定金額以上の買い物をした客に対し帰りの乗車券を提供したり、電車利用者に対し飲食の割引やサービスを提供したりするなど、沿線の店舗等とのタイアップを積極的に展開し、電車に乗るメリット、魅力を高め、利用増につなげます。

実施主体

万葉線株式会社、万葉線を愛する会

(4) 地域や他の機関との連携の強化

ノーマイカー運動とエコ活動の推進

事業概要

エコ活動や市民活動に関心の高い団体等を皮切りに、公共交通機関を利用することがCO2の削減に大きな効果を上げること、身近なエコ活動につながることなどを積極的にPRして、マイカーから公共交通への利用の転換を図ります。

実施主体

万葉線株式会社、高岡市、射水市、公共交通利用促進協議会

支援組織の拡充とオーナー意識の醸成

事業概要

万葉線を支援する市民組織「万葉線を愛する会」の会員数増に努め、物心両面から支援してくれる“万葉線ファン”の拡大を図るとともに、万葉線沿線をはじめとする地域住民がオーナー意識を持ち、“自ら守り育てる”意識を共有するための啓発にも努めます。

実施主体

万葉線株式会社、万葉線を愛する会

旅行会社等と連携した乗車プランの誘致

事業概要

電車に乗って周辺の景色を堪能してもらう、電車を使ってご当地名物を味わえるお店に連れていくなど、旅行ツアーや体験学習等に万葉線の乗車体験を組み込んでもらうよう、旅行会社や教育機関などに働きかけます。

実施主体

万葉線株式会社

大学・研究機関との連携

事業概要

日本大学工学部との共同により、軌道の状態を電車の走行中に計測するモニタリングシステムの実験を行うなど、日常の保守点検の効率化や保線計画の策定などに資する活動を展開し、効果を発揮していることから、今後も積極的に大学等と連携し、業務改善や活性化に繋がる活動に取り組みます。

実施主体

万葉線株式会社

目標を達成するために行う事業及び実施主体 一覧表

実施項目	実施主体 ()
(1) 安全・安心の輸送サービス	
重軌条交換及び軌道道床硬質構造化	万葉線
信号保安設備の更新	万葉線
電路設備の更新	万葉線
変電所設備の更新	万葉線
除雪車両の更新	万葉線
(2) 乗降環境の改善	
停留施設の整備	万葉線
待合室の改良	万葉線
J R 高岡駅 (交通広場) への延伸	高岡市
小規模自転車駐車場の整備	高岡市
計画的な車両の更新	万葉線
I C カード乗車システムの導入	万葉線
軌道優先信号の導入	万葉線
(3) サービスの充実と魅力向上	
夜間増発の実証実験	万葉線
新型定期券の発行	万葉線
万葉線情報の発信	万葉線、万対協、万愛
万葉線体験ツアーの開催	万対協、万愛
沿線店舗等とのタイアップによる魅力向上	万葉線、万愛
(4) 地域や他の機関との連携の強化	
ノーマイカー運動とエコ活動の推進	万葉線、高岡市、射水市、促進協
支援組織の拡充とオーナー意識の醸成	万葉線、万愛
旅行会社等と連携した乗車プランの誘致	万葉線
大学・研究機関との連携	万葉線

万葉線：万葉線株式会社、万対協：万葉線対策協議会、万愛：万葉線を愛する会
 促進協：高岡市公共交通利用促進協議会